



# スマート ソフトウェア ライセンシング

- [スマート ソフトウェア ライセンシングの概要 \(1 ページ\)](#)
- [システム ライセンスの前提条件 \(4 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングのタスクフロー \(5 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングでの追加タスク \(8 ページ\)](#)
- [特定ライセンス予約 \(14 ページ\)](#)
- [永久ライセンス予約対応システムのバージョン 15 へのアップグレード \(27 ページ\)](#)
- [バージョンに依存しないライセンス \(27 ページ\)](#)
- [スマートライセンシングのエクスポートに関するコンプライアンス \(28 ページ\)](#)

## スマート ソフトウェア ライセンシングの概要

シスコスマートソフトウェアライセンシングは、ライセンスに関する新しい考え方を提供しています。ライセンスの柔軟性が増し、企業全体のライセンスがシンプルになります。また、ライセンスの所有権および消費が可視化されます。

Ciscoスマート ソフトウェア ライセンシングを使用すると、デバイスが自己登録し、ライセンス消費を報告し、製品アクティベーションキー (PAK) が必要なくなり、ライセンスの調達、展開、管理が簡単にできるようになります。ライセンス資格を単一のアカウントにプールして、必要に応じてネットワーク経由でライセンスを自由に移動することができます。Cisco製品全体で有効化され、直接クラウドベースまたは間接導入モデルによって管理されます。

Cisco スマート ソフトウェア ライセンシング サービスでは、製品インスタンスを登録し、ライセンスの使用状況を報告し、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトから必要な認証を取得します。

スマート ライセンシングでは次のことを実行できます。

- ライセンスの使用状況とライセンス数の表示
- 各ライセンス タイプのステータスの表示
- Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトによる利用可能な製品ライセンスの表示

- Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトによるライセンス認証の更新
- ライセンス登録の更新
- Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトによる登録解除



(注) ライセンス承認は、30日間に少なくとも1回更新することで90日間有効になります。Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに接続しないと、90日後に承認の期限が切れます。

Cisco Smart Software Manager サテライトのオプションを選択する場合、このサテライトが認証を行うために、Cisco Smart Software Manager へのインターネット接続が必要になります。Cisco Smart Software Manager サテライトは、接続時間が設定可能な接続済みモードと、手動同期が必要な切断モードの2つのモードで動作できます。

スマートライセンスングの導入オプションには、主に次の2つがあります。

- Cisco Smart Software Manager
- Cisco Smart Software Manager サテライト

### Cisco Smart Software Manager

Cisco Smart Software Manager は、システムのライセンスを処理するクラウドベースのサービスです。Unified Communications Manager が直接またはプロキシサーバ経由で、[cisco.com](https://cisco.com) に接続できる場合に、このオプションを使用します。Cisco Smart Software Manager によって、次のことを行うことができます。

- ライセンスの管理およびトラック
- バーチャルアカウント間でのライセンスの移動
- 登録済みの製品インスタンスの削除

オプションで、Unified Communications Manager が直接 Cisco Smart Software Manager に接続できない場合、接続を管理するプロキシサーバを導入することができます。



(注) Cisco Smart Software Manager に登録されている Unified Communications Manager を 15 より前のリリースからリリース 15 以降にアップグレードする場合、Cisco Unified Communications Manager は、製品インスタンスの Cisco Smart Software Manager UI で製品バージョンを 15 に更新しません。詳細については、CSCw94088 を参照してください。

Cisco Smart Software Manager の詳細については、<https://software.cisco.com> に進みます。

### Cisco Smart Software Manager サテライト

Cisco Smart Software Manager サテライトは、セキュリティ上または可用性上の理由で、Unified Communications Manager が直接 cisco.com に接続できない場合に、ライセンスのニーズを処理できるオンプレミス導入です。このオプションを導入すると、Unified Communications Manager は、ライセンスの使用を登録し、サテライトに報告します。この際、cisco.com でホストされているバックエンドの Cisco Smart Software Manager とそのデータベースを定期的に同期します。

サテライトが cisco.com に直接接続できるかどうかに応じて、Cisco Smart Software Manager サテライトを接続または切断のいずれかのモードで導入できます。

- 接続（Connected）： Smart Software Manager サテライトから cisco.com への直接の接続がある場合に使用されます。スマート アカウントの同期が自動的に実行されます。
- 切断（Disconnected）： Smart Software Manager サテライトから cisco.com への接続がない場合に使用されます。Smart Account の同期を手動でアップロードおよびダウンロードする必要があります。



（注） デュアルスタックモードで実行される Unified CM は、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスを使用して構成されたサテライトをサポートします。



（注） Cisco Smart Software Manager Satellite に登録されている Unified Communications Manager を 15 より前のリリースからリリース 15以降にアップグレードする場合、Cisco Unified Communications Manager は、製品インスタンスの Cisco Smart Software Manager UI で製品バージョンを 15 に更新しません。詳細については、CSCwf94088 を参照してください。

Cisco Smart Software Manager サテライトの情報およびドキュメントについては、<https://www.cisco.com/c/en/us/buy/smart-accounts/software-manager-satellite.html> に進みます。

## ライセンスタイプ

ニーズをカバーするために、次のライセンスタイプを使用できます。

### Cisco Unified Workspace Licensing

Cisco Unified Workspace Licensing（UWL）は、シスコ コラボレーション アプリケーションおよびサービスの最も一般的なバンドルをコスト効率の高いシンプルなパッケージで提供します。このパッケージには、ソフト クライアント、アプリケーション サーバ ソフトウェア、およびユーザごとのライセンスが含まれています。

### Cisco User Connect Licensing

User Connect Licensing（UCL）は、個々の Cisco Unified Communications アプリケーションに対するユーザベースのライセンスで、アプリケーション サーバ ソフトウェア、ユーザ ライセンス、ソフト クライアントが含まれています。UCL は、必要なデバイスのタイプとデバイ

スの数に応じて、Essential、Basic、Enhanced、Enhanced Plus の各バージョンから選択できます。

これらのライセンスタイプと使用可能なバージョンの詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/unified-communications-licensing/index.html> を参照してください。

### Session Management Edition

Session Management Edition は、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトのいずれかに登録できます。Session Management Edition の登録には、Unified Communications Manager と同じプロセスを使用できます。Cisco Unified Communications Manager が登録されているバーチャルアカウントまたは別のバーチャルアカウントに登録し、最小のライセンス要件を満たします。



(注) 特定ライセンス予約 (SLR) に登録された SME では、SLR 承認コードの生成時に最小セットのライセンスが CSSM に予約されている必要があります。

## 製品インスタンスの評価モード

Unified Communications Manager は、インストール後 90 日間は評価期間として実行されます。評価期間が終了すると、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに登録されるまで、Unified Communications Manager で新規ユーザや新規端末の追加ができなくなります。



(注) 製品が登録されると評価期間は終了します。



(注) 90 日の評価期間を使用して実行している間、セキュア SIP トランクを導入することはできません。セキュア SIP トランクを導入するには、製品登録トークンで [エクスポート管理された機能を許可 (Allow export-controlled functionality)] を選択した Smart Software Manager アカウントにシステムを登録してある必要があります。

## システム ライセンスの前提条件

### システムのライセンスプランの策定

Unified Communications (UC) のライセンス構造を確認し、把握します。詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/unified-communications-licensing/index.html> を参照してください。

Unified Communications Manager を Smart Software Manager サービスに接続する方法を計画します。

- **cisco.com の Cisco Smart Software Manager への直接接続:** Unified Communications Manager は、cisco.com の Cisco Smart Software Manager に直接接続します。このオプションでは、tools.cisco.com を解決するように Unified Communications Manager で DNS を設定する必要があります。
- **プロキシサーバ経由で Smart Software Manager への接続:** Unified Communications Manager はプロキシサーバまたはトランスポートゲートウェイに接続し、そこから cisco.com の Cisco Smart Software Manager サービスに接続します。Unified Communications Manager では DNS は必要ありませんが、プロキシサーバで tools.cisco.com を解決できるように DNS を設定する必要があります。
- **オンプレミスの Cisco Smart Software Manager サテライトへの接続:** Unified Communications Manager は、オンプレミスの Smart Software Manager サテライトに接続します。Unified Communications Manager では DNS は必要ありません。接続モードを展開する場合は、サテライトサーバ上に tools.cisco.com を解決できる DNS が必要です。非接続モード展開の場合は、サテライトサーバで DNS を使用する必要はありません。

### スマートライセンスの登録

スマートアカウントおよびバーチャルアカウントを設定します。詳細については、<https://software.cisco.com/> を参照してください。

(オプション) Cisco Smart Software Manager サテライトを導入する場合は、サテライトをインストールしてセットアップします。『Smart Software Manager サテライト設置ガイド』などのドキュメントを参照してください。ドキュメントは <https://www.cisco.com/c/en/us/buy/smart-accounts/software-manager-satellite.html> で入手できます。

## スマートソフトウェアライセンスのタスクフロー

このタスクを完了して、Unified Communication Manager のシステムライセンスを設定します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
<b>Step 1</b>	製品インスタンスの登録トークンの取得 (6 ページ)。	仮想アカウントでの製品インスタンス登録トークンの生成は、この手順を使用します。
<b>Step 2</b>	スマートソフトウェアライセンスへの接続の設定 (7 ページ)	Unified Communications Manager がスマートソフトウェアライセンスサービスに接続するトランスポート設定を選択します。デフォルトでは [直接 (Direct)] オプションが選択されており、製品がシスコライセンスサーバに直接接続します。

	コマンドまたはアクション	目的
<b>Step 3</b>	Cisco Smart Software Manager への登録 (8 ページ)。	次の手順を実行して、Unified Communications Manager を Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに登録します。

## 製品インスタンスの登録トークンの取得

### 始める前に

製品インスタンスを登録するには、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトから製品インスタンス登録トークンを取得します。トークンは、エクスポート管理された機能が有効か無効かに関係なく生成できます。

### 手順

- 
- Step 1** Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトのいずれかでスマートアカウントにログインします。
- Step 2** Unified Communications Manager クラスタを関連付けるバーチャルアカウントに移動します。
- Step 3** 「製品インスタンス登録トークン」を生成します。
- (注) [このトークンで登録されている製品でエクスポート管理された機能を許可 (Allow export-controlled functionality on the products registered with this token) ] チェックボックスを選択して、このスマートアカウントで使用する製品インスタンスのトークンに対して、エクスポート管理された機能を有効にします。このチェックボックスをオンにして条件に同意して、この登録トークンに登録されている製品の高度な暗号化を有効にします。デフォルトでは、このチェックボックスはオンです。エクスポート管理された機能をこのトークンで使用できなくするには、このチェックボックスをオフにします。
- 注意 このオプションは、エクスポート管理された機能を準拠している場合のみ使用します。
- (注) [このトークンで登録されている製品でエクスポート管理された機能を許可 (Allow export-controlled functionality on the products registered with this token) ] チェックボックスは、エクスポート管理された機能の使用が許可されていないスマートアカウントでは表示されません。
- Step 4** トークンをコピーするか、別の場所に保存します。
- 詳細については、<https://software.cisco.com/> を参照してください。
-

## スマートソフトウェアライセンスングへの接続の設定

この作業を完了して、Smart Software Licensing サービスに Unified Communications Manager を接続します。

### 手順

- 
- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス管理 (License Management)] を選択します。  
[ライセンス管理 (License Management)] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** [スマートソフトウェアライセンスング (Smart Software Licensing)] セクションから、[ライセンス Smart Call Home設定の表示/編集 (View/Edit the Licensing Smart Call Home settings)] リンクをクリックします。  
[転送設定 (Transport Settings)] ダイアログ ボックスが表示されます。
- Step 3** Smart Licensing サービスに Unified Communications Manager を接続する方法を選択します。
- [直接 (Direct)]: Unified Communications Manager が cisco.com の Smart Software Manager に直接接続します。これがデフォルトのオプションです。このオプションでは、tools.cisco.com を解決できる Unified Communications Manager で DNS を導入する必要があります。
  - [トランスポートゲートウェイ (Transport Gateway)]: Unified Communications Manager がオンプレミスの Cisco Smart Software Manager サテライトまたはシステム ライセンスング用のトランスポートゲートウェイに接続します。[URL] テキストボックスに、Smart Software Manager サテライトまたはトランスポートゲートウェイのアドレスとポートを入力します。  
fqdn\_of\_smart\_software\_manager:port\_number が一例になります。HTTPS の場合は、port 443 を使用します。
  - [HTTP/HTTPSプロキシ (HTTP/HTTPS Proxy)]: Unified Communications Manager はプロキシサーバに接続します。プロキシサーバは、Cisco Smart Software Manager サービスと併せて、cisco.com のサテライトおよびトランスポートゲートウェイと接続します。プロキシサーバの IP アドレス、ホスト名、およびポートを入力します。
    - HTTP または HTTPS プロキシに必要な認証: 認証ベースのプロキシサーバを使用して Cisco Smart Software Manager に登録する場合は、このチェックボックスをオンにします。
    - IP アドレス/ホスト名
    - [ポート (Port)]: HTTPS の場合、port 443 を使用します。
    - [ユーザ名 (User Name)]
    - [パスワード (Password)]
- Step 4** Unified Communications Manager が IP アドレスとホスト名を共有しないように制限するには、スマートライセンスング登録中に [自分のホスト名またはIPアドレスをシスコと共有しません (Do not share my hostname or IP address with Cisco)] チェックボックスをオンにします。

**Step 5** [保存 (Save)] をクリックします。

## Cisco Smart Software Manager への登録

製品を Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに登録するには、この手順を使用します。登録するまで、製品は評価モードになっています。

### 手順

- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス管理 (License Management)] を選択します。  
[ライセンス管理 (License Management)] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** [スマートソフトウェアライセンスング (Smart Software Licensing)] セクションで、[登録 (Register)] ボタンをクリックします。  
[登録 (Registration)] ウィンドウが表示されます。
- Step 3** [製品インスタンス登録トークン (Product Instance Registration Token)] セクションで、Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトを使用して生成し、コピーまたは保存した「登録トークン キー」を貼り付けます。
- Step 4** [登録 (Register)] をクリックして、登録プロセスを完了します。
- Step 5** [閉じる (Close)] をクリックします。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- Step 6** [ライセンスの使用状況レポート (License Usage Report)] セクションで、[使用状況の詳細の更新 (Update Usage Details)] をクリックして、システムのライセンスの使用状況の情報を手動で更新します。

(注) 使用状況の情報は、24 時間ごとに自動的に更新されます。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

## スマートソフトウェアライセンスングでの追加タスク

Unified Communications Manager とスマートソフトウェアライセンスングでは、次のオプションのタスクを実行できます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
<b>Step 1</b>	<a href="#">認証を更新 (10 ページ)</a>	ライセンスタイプの下に表示されるすべてのライセンスのライセンス認証ステータス



	コマンドまたはアクション	目的
		<p>を手動で更新するにはこの手順を実行します。</p> <p>(注) ライセンス認証は30日ごとに自動的に更新されます。Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに接続しないと、認証ステータスの期限は90日後に切れます。</p> <p>Cisco Smart Software Manager サテライトのオプションを選択する場合、このサテライトが認証を行うために、Cisco Smart Software Manager へのインターネット接続が必要になります。Cisco Smart Software Manager サテライトは、接続時間が設定可能な接続済みモードと、手動同期が必要な切断モードの2つのモードで動作できます。</p>
<p><b>Step 2</b></p>	<p><a href="#">登録の更新 (11 ページ)</a></p>	<p>登録情報を手動で更新するには、以下手順を実行します。</p> <p>(注) 初回登録の有効期間は1年です。登録の更新は、製品を Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに接続すると、6か月ごとに自動的に行われます。</p>
<p><b>Step 3</b></p>	<p><a href="#">登録解除 (12 ページ)</a></p>	<p>Cisco Smart Software Manager または Smart Software Manager サテライトから Unified Communications Manager クラスタを切断するには、このタスクを実行します。製品は、評価期間の終了まで評価モードに戻ります。製品で使用されているすべてのライセンス権限は、バーチャルアカウントにすぐにリリースされ、他の製品インスタンスで使用できるようになります。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
<b>Step 4</b>	Cisco Smart Software Manager でのライセンスの再登録 (13 ページ)	<p>Unified Communications Manager を Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに再登録するには、このタスクを実行します。</p> <p>(注) 新しいバーチャルアカウントのトークンを使用して再登録すると、製品が異なるバーチャルアカウントに移行される場合があります。</p>

## 認証を更新

この手順を使用すると、ライセンスタイプの下に表示されるすべてのライセンスのライセンス認証ステータスを手動で更新できます。



- (注) ライセンス認証は 30 日ごとに自動的に更新されます。Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに接続しないと、認証ステータスの期限は 90 日後に切れます。

Cisco Smart Software Manager サテライトのオプションを選択する場合、このサテライトが認証を行うために、Cisco Smart Software Manager へのインターネット接続が必要になります。Cisco Smart Software Manager サテライトは、接続時間が設定可能な接続済みモードと、手動同期が必要な切断モードの 2 つのモードで動作できます。

### 始める前に

製品は Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに登録する必要があります。

### 手順

- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス管理 (License Management)] を選択します。  
[ライセンス管理 (LicenseManagement)] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** [スマートソフトウェアライセンスング (Smart Software Licensing)] セクションで、[アクション (Actions)] ドロップダウンリストをクリックします。
- Step 3** [認証を今すぐ更新 (Renew Authorization Now)] を選択します。  
[認証の更新 (Renew Authorization)] ウィンドウが表示されます。
- Step 4** [OK] をクリックします。

Unified Communications Manager は、「ライセンス承認ステータス」を確認するために Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに要求を送信し、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトが Unified Communications Manager にステータスを返します。詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

**Step 5** [ライセンスの使用状況レポート (License Usage Report)] セクションで、[使用状況の詳細の更新 (Update Usage Details)] をクリックして、システムのライセンスの使用状況の情報を手動で更新します。

(注) 使用状況の情報は、24 時間ごとに自動的に更新されます。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンライン ヘルプを参照してください。

## 登録の更新

製品を Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに登録する間、製品の識別にはセキュリティ アソシエーションが使用され、登録証明によってアンカーが設定されます。この有効期限 (登録期間) は 1 年間です。これは登録トークン ID の有効期限とは異なり、トークンの時間制限が有効になります。この登録期間は 6 か月ごとに自動的に更新されます。ただし、問題がある場合は、この登録期間を手動で更新できます。

### 始める前に

製品は Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに登録する必要があります。

### 手順

- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス管理 (License Management)] を選択します。  
[ライセンス管理 (License Management)] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** [スマートソフトウェアライセンスング (Smart Software Licensing)] セクションで、[アクション (Actions)] ドロップダウンリストをクリックします。
- Step 3** [登録を今すぐ更新 (Renew Registration Now)] を選択します。  
[登録の更新 (Renew Registration)] ウィンドウが表示されます。
- Step 4** [OK] をクリックします。

Unified Communications Manager は、「登録ステータス」を確認するために Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに要求を送信し、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトが Unified Communications Manager にステータスを返します。

**Step 5** [ライセンスの使用状況レポート (License Usage Report)] セクションで、[使用状況の詳細の更新 (Update Usage Details)] をクリックして、システムのライセンスの使用状況の情報を手動で更新します。

(注) 使用状況の情報は、24 時間ごとに自動的に更新されます。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンラインヘルプを参照してください。

## 登録解除

この手順を使用すると、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトから登録を解除して、現在のバーチャルアカウントからすべてのライセンスをリリースします。この手順を実行すると、Unified Communications Manager クラスタが Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトから切断されます。製品で使用されているすべてのライセンス権限は、バーチャルアカウントにリリースされ、他の製品インスタンスで使用できるようになります。



(注) Unified Communications Manager が Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに接続できず、製品がまだ登録されていない場合は、警告メッセージが表示されます。このメッセージでは、製品を Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトから手動で削除してライセンスを解放する通知が表示されています。

### 始める前に

製品は Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに登録する必要があります。

### 手順

- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス管理 (License Management)] を選択します。  
[ライセンス管理 (LicenseManagement)] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** [スマートソフトウェアライセンスング (Smart Software Licensing)] セクションで、[アクション (Actions)] [ドロップダウンリスト] をクリックします。
- Step 3** [登録解除 (Deregister)] を選択します。  
登録解除 ウィンドウが表示されます。
- Step 4** [OK] をクリックします。
- Step 5** [ライセンスの使用状況レポート (License Usage Report)] セクションで、[使用状況の詳細の更新 (Update Usage Details)] をクリックして、システムのライセンスの使用状況の情報を手動で更新します。

- (注) 使用状況の情報は、24時間ごとに自動的に更新されます。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンラインヘルプを参照してください。
- (注)
  - Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトへの登録後にデータプレーン暗号化（混合モードの Unified Communications Manager クラスタ）が有効化され、製品が後で登録解除された場合、混合モードでは引き続き有効となります。

Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトから製品が登録解除されると、SmartLicenseExportControlNotAllowed という名前の警告が管理者に送信され、クラスタが非セキュアモードに設定されます。混在モードは、再起動後も引き続き有効となります。

  - この登録解除後の動作は、製品の将来のバージョンでは変更される可能性があります。CTL クライアントのセットアップに関する詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-presence/products-maintenance-guides-list.html> にある「『Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド』」の「Cisco CTL クライアントの設定」の章を参照してください。

トークンレス CTL の混合モードに関する詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-tech-notes-list.html> にある「Tokenless CTL との CUCM 混合モード」セクションを参照してください。

## Cisco Smart Software Manager でのライセンスの再登録

この手順を使用すると、Cisco Unified Communications Manager を Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトに再登録できます。

始める前に

[製品インスタンスの登録トークンの取得（6 ページ）](#)。

手順

- Step 1** Cisco Unified CM Administration から、[システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [ライセンス管理 (License Management)] を選択します。  
[ライセンス管理 (LicenseManagement)] ウィンドウが表示されます。
- Step 2** [スマートソフトウェアライセンス (Smart Software Licensing)] セクションで、[登録 (Register)] ボタンをクリックします。  
[登録 (Registration)] ウィンドウが表示されます。

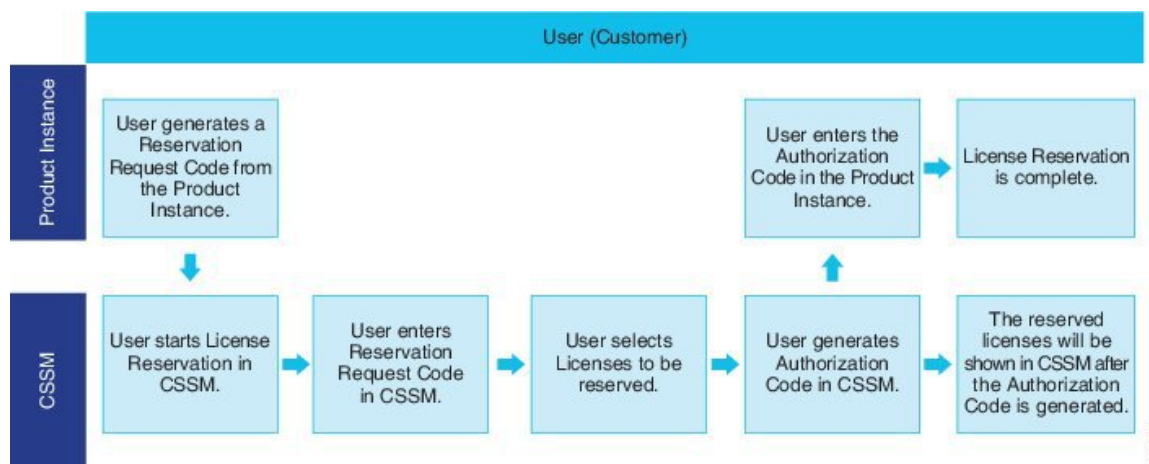
- Step 3** [スマートソフトウェアライセンスング (Smart Software Licensing) ] セクションで、[アクション (Actions) ] ドロップダウンリストをクリックします。
- Step 4** [登録 (Reregister) ] を選択します。  
[登録 (Reregister) ] ウィンドウが表示されます。
- Step 5** [OK] をクリックします。
- Step 6** [製品インスタンス登録トークン (Product Instance Registration Token) ] セクションで、Cisco Smart Software Manager または Cisco Smart Software Manager サテライトを使用して生成し、コピーまたは保存した「登録トークンキー」を貼り付けます。
- Step 7** [登録 (Register) ] をクリックして、登録プロセスを完了します。
- Step 8** [閉じる (Close) ] をクリックします。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- Step 9** [ライセンスの使用状況レポート (License Usage Report) ] セクションで、[使用状況の詳細の更新 (Update Usage Details) ] をクリックして、システムのライセンスの使用状況の情報を手動で更新します。
- (注) 使用状況の情報は、24時間ごとに自動的に更新されます。フィールドと設定オプションの詳細については、システムのオンラインヘルプを参照してください。

## 特定ライセンス予約

特定ライセンス予約は、非常にセキュリティの高いネットワークで使用される機能です。特定ライセンス予約は、使用情報を通信せずに、デバイス（製品インスタンス、Unified Communications Manager）にソフトウェアライセンスを展開する方法を提供します。

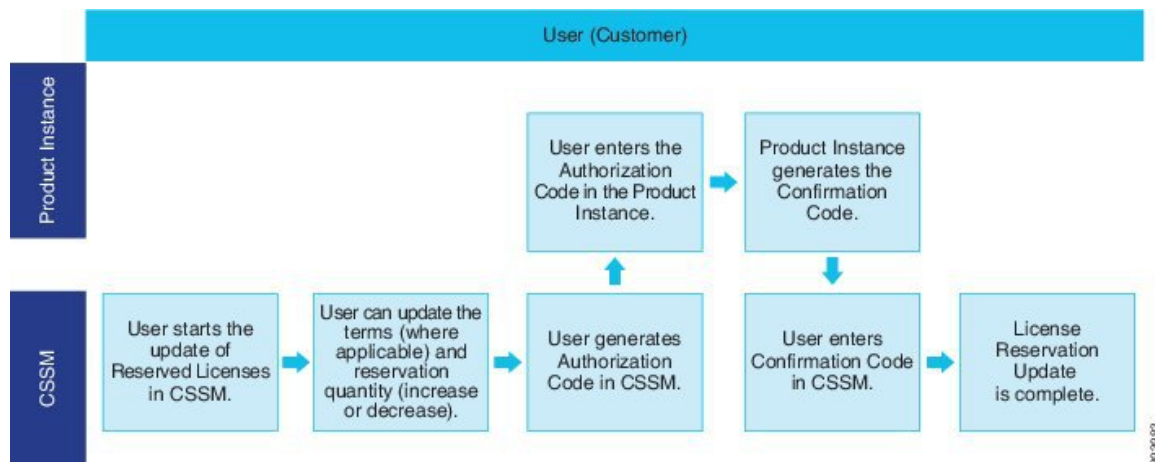
Unified Communications Manager 製品では、永久ライセンスまたは期間ベースのライセンスを指定して予約することができます。認証コードが交換された後は、予約に変更があるまで定期的な製品の同期は必要ありません。予約済みライセンスは、リターンコードを使用して製品からリリースされてない限り、Cisco Smart Software Manager でブロックされたままになります。

図 1: ライセンスの予約



予約済みライセンスの更新または変更 (増減) は、Cisco Smart Software Manager で以前に予約されたライセンスに実行できます。新しい認証コードの製品へのインストールおよび確認コードの取得が可能です。製品からの確認コードが Cisco Smart Software Manager にインストールされていない限り、新しい変更は送信中の状態のままになります。

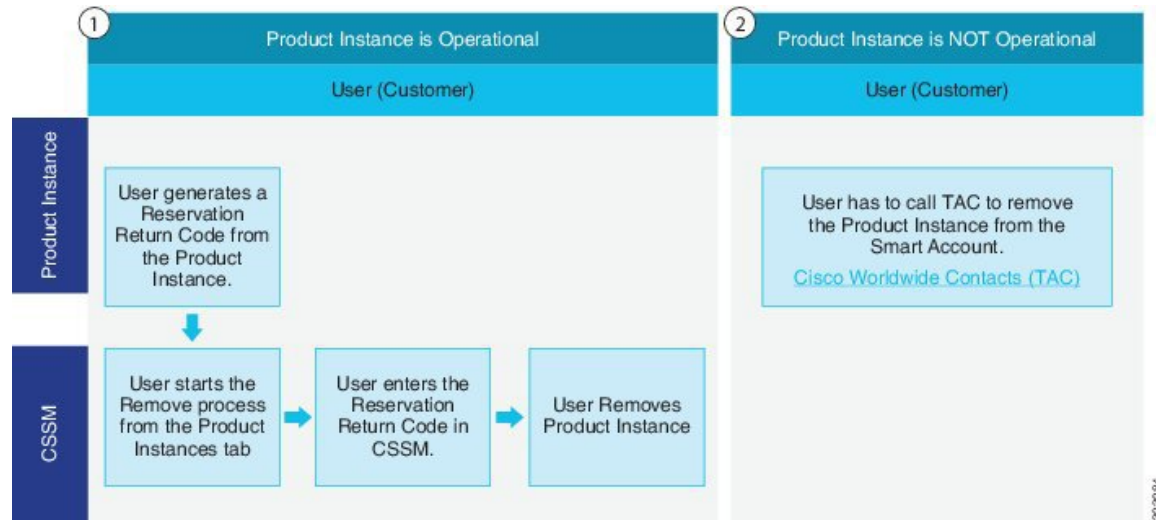
図 2: ライセンス予約のアップデート



ライセンスが製品インスタンス (Unified Communications Manager) で予約されている場合、スマートアカウントから製品インスタンスを削除して、スマートアカウントからその製品インスタンス (Unified Communications Manager) に予約されているすべてのライセンスをすべてリリースするには、2つの方法があります。

**製品インスタンスは動作可能 (グレースフル削除):** 製品インスタンスで (認証コードの削除) 予約戻りコードを作成して、特定のライセンス予約認証をリリースすることができます。その後、CiscoSmart Software Manager に予約戻りコードを入力します。

**製品インスタンスは動作不可能 (失敗または RMA による場合、または VM または コンテナを破棄する場合):** ユーザは TAC に連絡する必要があります。スマートアカウントからの製品インスタンスの削除は、TACが行います。

図 3: 製品インスタンスの削除: *Unified Communications Manager*

(注) ユーザが特定のライセンス予約を有効にするには、CLI 設定のみが使用可能です。



(注) 特定ライセンス予約が *Unified Communications Manager* で有効化されている場合、クラウド オンボーディング用のバウチャー生成はサポートされません。

スマートアカウントでライセンス予約機能を使用できるお客様は、自身のバーチャルアカウントからライセンスを予約し、そのライセンスをデバイス UDI に関連付けて、接続していない状態で予約済みライセンスを使用してデバイスを使用することができます。この場合、バーチャルアカウントから UDI 用の特定ライセンスと数量を予約します。以下のオプションは、特定のライセンス予約向けの新機能および設計要素の説明です。

- license smart reservation enable
- license smart reservation disable
- license smart reservation request
- license smart reservation cancel
- update license reservation
- license smart reservation install "<authorization-code>"
- license smart reservation install-file <url>
- license smart reservation return
- license smart reservation return-authorization "<authorization-code>"



## 特定ライセンス予約のタスクフロー

これらのタスクを完了して、Unified Communications Manager の特定のライセンスを予約します。

### license smart reservation enable

特定のライセンスの予約を有効化するには、この手順を使用します。

#### 始める前に

Unified Communications Manager が Cisco Smart Software Manager またはサテライトから登録解除されます。

#### 手順

---

Cisco Unified CM 管理コンソールから、次の CLI コマンドを実行します。

- `license smart reservation enable`
- 

### license smart reservation request

Unified Communications Manager 製品から予約要求コードを生成するには、次の手順を実行します。

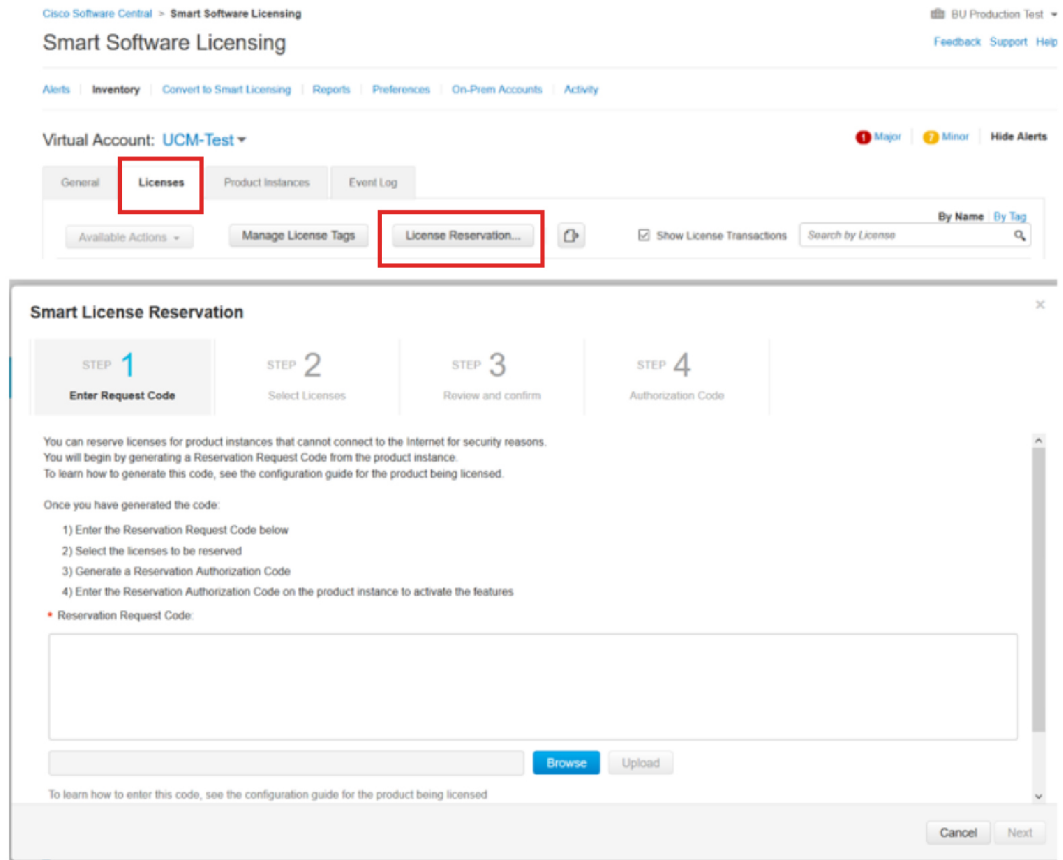
#### 始める前に

**license smart reservation enable** を実行して、Unified Communications Manager の登録ステータスが [予約を実行中 (Reservation in progress)] になっていることを確認します。

。

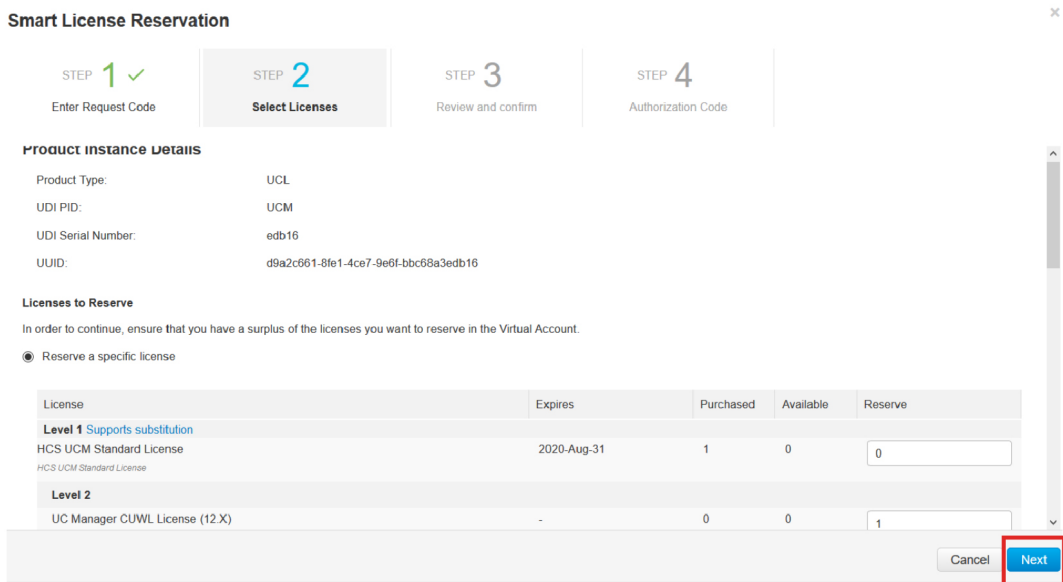
#### 手順

- 
- Step 1** Cisco Unified CM 管理コンソールから、*license smart reservation request* コマンドを実行します。  
**Step 2** CSSM (Cisco Smart Software Manager) にログインし、予約要求コードを入力します。



450364

**Step 3** このデバイス用に予約するライセンスを選択し、承認コードを生成します。



450365

- Step 4** 承認コードを製品インスタンスにコピーし、**license smart reservation install "<authorization-code>"** コマンドを実行してインストールします。

```
admin#license smart reservation install "specificID=<authorizationCode>-flag-A/<flag>-version-C/<version>-guid-abb5e45-bf01-465c-9d1f-b46de5010e5f/<guid>-timestamp-155480152624/<timestamp>-entitlement-<entitlement>-entitlement-entitlementID-2017-02-09-11:00:00/CWL_LICENSE_12_X/<displayname>-capDescription-OC Manager CWL License/<capDescription>-subscriptionID/<subscriptionID>-entitlement/<entitlement>-authorizationCode/<signature>-MOC12a06118yBcXyWdn3r7yb=287q0gpg3j2jFFa7gq1306411Ttdor1aj/+KAMb7D8sr7F3a=7B0T1M85r6fA==/<signature>-cst1>P1JCM,51e3b16,0:d9a2e61-0fe1-4e67-9eef-bcc68a3c016/<url>-/specificIDRO"
Authorization code installed successfully.
admin#
```

450366

## license smart reservation install "<authorization-code>"

Cisco Smart Software Manager から生成された予約承認コードをインストールするには、この手順を使用します。

### 始める前に

次の順序でコマンドを実行して、Unified Communications Manager の登録ステータスが [進行中の予約 (Reservation In Progress)] であることを確認します。

- **license smart reservation enable**
- **license smart reservation request**

### 手順

Cisco Unified CM 管理コンソールから、次の CLI コマンドを実行します。

- **license smart reservation install "<authorization-code>"**

## license smart reservation install-file <url>

Cisco Smart Software Manager で生成されたライセンス予約承認コード ファイルをインストールするには、この手順を使用します。

### 始める前に

次の順序でコマンドを実行して、Unified Communications Manager の登録ステータスが [進行中の予約 (Reservation In Progress)] であることを確認します。

- **license smart reservation enable**
- **license smart reservation request**



(注) URL は、SFTP サーバ上の承認コード ファイルへの必須のパスであり、次の形式で表されます。

**sftp://<HostName/IP>:<port>/<Path to Authorization-Code file>**

#### 手順

---

Cisco Unified CM 管理コンソールから、次の CLI コマンドを実行します。

- license smart reservation install-file <url>
- 

## 特定のライセンス予約に関する追加タスク

特定ライセンス予約については、Unified Communications Manager で次の追加タスクを使用できません。

### license smart reservation disable

このプロセスで特定のライセンスの保留を無効にします。

#### 始める前に

特定ライセンス予約は、Unified Communications Manager で有効化します。

#### 手順

---

Cisco Unified CM 管理コンソールから、次の CLI コマンドを実行します。

- license smart reservation disable
- 

## ライセンス予約の更新

製品インスタンスのライセンス予約を更新し、新しい承認コードを取得するには、次の手順を実行します。

#### 始める前に

次の順序でコマンドを実行して、Unified Communications Manager の登録ステータスが [登録済み-特定ライセンス予約 (Registered - Specific License Reservation)] になっていることを確認します。

- license smart reservation enable
- license smart reservation request
- license smart reservation install "<authorization-code>"



- (注) Unified Communications Manager で特定ライセンス予約が有効になっている場合、上位層からのライセンスの借用は自動的には行われません。ライセンス予約は、Unified Communications Manager でのライセンスの消費/使用に合わせて手動で更新する必要があります。

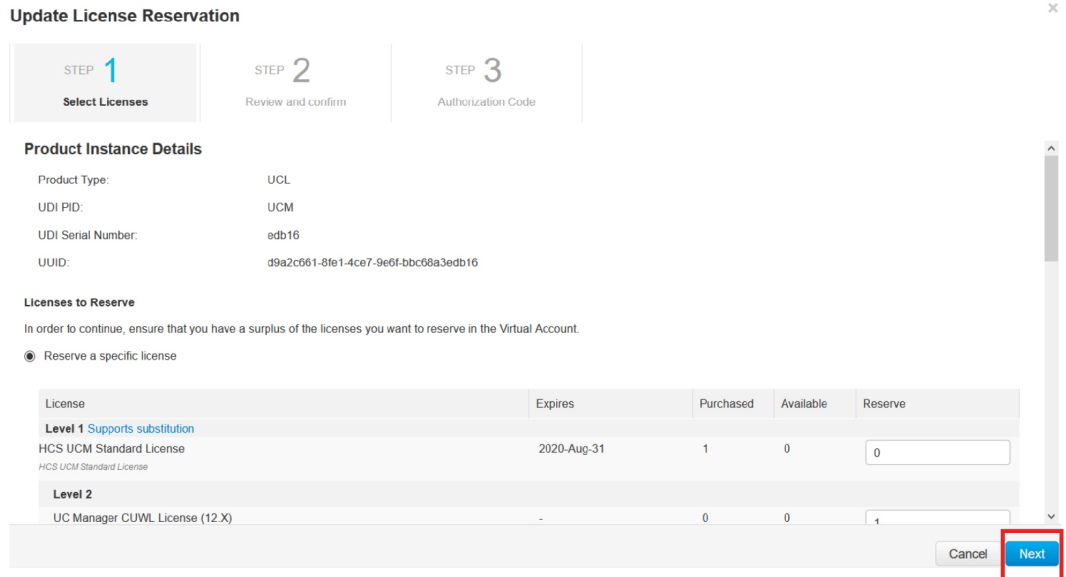
## 手順

- Step 1** CSSM で予約を更新する製品インスタンスの横にある [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから、[予約済みライセンスの更新 (Update Reserved Licenses)] を選択します。

The screenshot shows the Cisco Software Central interface for Smart Software Licensing. The 'Product Instances' tab is active, displaying a table with one instance. The 'Actions' dropdown menu is open, showing options like 'Transfer...', 'Update Reserved Licenses...', 'Remove...', and 'Rehost Licenses from a Failed Product...'. Below the table, the 'Update License Reservation' wizard is shown, with Step 1 'Select Licenses' highlighted. The 'Product Instance Details' section shows: Product Type: UCL, UDI PID: UCM, UDI Serial Number: edb16, and UUID: d9a2c661-8fe1-4ce7-9e6f-bbc68a3edb16. The 'Licenses to Reserve' section is also visible.

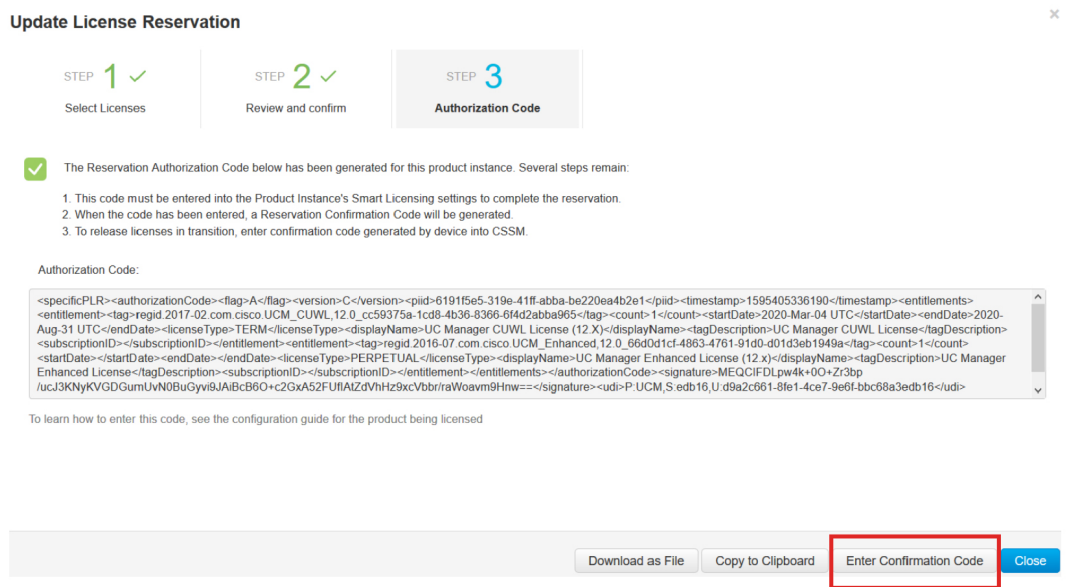
- Step 2** 予約を更新（この製品インスタンスに対するライセンスを追加、削除、更新）し、承認コードを生成します。

450363



450367

**Step 3** 承認コードを製品インスタンスにコピーし、**license smart reservation install “<authorization-code>”** コマンドを実行してインストールします。



450368

**Step 4** 承認コードが正しくインストールされると、製品で確認コードが生成されます。



450368

**Step 5** 確認コードをコピーして CSSM に入力し、予約の更新を完了します。

✕

**Update License Reservation**

STEP 1 ✓  
Select Licenses

STEP 2 ✓  
Review and confirm

STEP 3  
Authorization Code

✓ The Reservation Authorization Code below has been generated for this product instance. Several steps remain:

1. This code must be entered into the Product Instance's Smart Licensing settings to complete the reservation.
2. When the code has been entered, a Reservation Confirmation Code will be generated.
3. To release licenses in transition, enter confirmation code generated by device into CSSM.

Authorization Code:

```

<specificPLR><authorizationCode><flag>A</flag><version>C</version><pid>619115e5-319e-41ff-abba-be220ea4b2e1</pid><timestamp>1595405336190</timestamp><entitlements>
<entitlement><tag>regid.2017-02.com.cisco.UCM_CUWL_12.0_cc59375a-1cd8-4b36-8366-6f4d2abba965</tag><count>1</count><startDate>2020-Mar-04 UTC</startDate><endDate>2020-
Aug-31 UTC</endDate><licenseType>TERM</licenseType><displayName>UC Manager CUWL License (12 X)</displayName><tagDescription>UC Manager CUWL License</tagDescription>
<subscriptionID></subscriptionID><entitlement><entitlement><tag>regid.2016-07.com.cisco.UCM_Enhanced_12.0_66d0d1cf-4863-4761-9180-d01d3eb1949a</tag><count>1</count>
<startDate></startDate><endDate></endDate><licenseType>PERPETUAL</licenseType><displayName>UC Manager Enhanced License (12 X)</displayName><tagDescription>UC Manager
Enhanced License</tagDescription><subscriptionID></subscriptionID><entitlement><entitlements><authorizationCode><signature>MEQCIFDLpw4k+0O+Zr3bp
/ucJ3KnyKVGdGumUvN0BuGyvi8JaiBcB6O+c2GxA52FUFfAlZdVhHz9xcVbbr/raWoavm9Hnw=</signature><udi>P.UCM.S.edb16,U.d9a2c661-8fe1-4ce7-9e6f-bbc68a3edb16</udi>
        
```

To learn how to enter this code, see the configuration guide for the product being licensed

Download as File Copy to Clipboard Enter Confirmation Code Close

450362

## license smart reservation cancel

次の手順を使用して、CUCM 要求コードに対する Cisco Smart Software Manager からの認証コードがインストールされる前に、予約プロセスをキャンセルします。

始める前に

次の順序でコマンドを実行して、Unified Communications Manager の登録ステータスが [進行中の予約 (Reservation In Progress)] であることを確認します。

- license smart reservation enable
- license smart reservation request

手順

Cisco Unified CM 管理コンソールから、次の CLI コマンドを実行します。

- license smart reservation cancel

## license smart reservation return

ライセンスをバーチャルアカウントプールに返却し、CSSM から製品インスタンスを削除するには、Cisco Smart Software Manager に返却コードを入力する必要があります。返却コードを生成するには、次の手順を実行します。

### 始める前に

次の順序でコマンドを実行して、Unified Communications Manger の登録ステータスが [登録済み-特定ライセンス予約 (Registered - Specific License Reservation) ] であることを確認します。

- **license smart reservation enable**
- **license smart reservation request**
- **license smart reservation install "<authorization-code>"**

### 手順

---

- Step 1** Cisco Unified CM 管理コンソールから、license smart reservation return コマンドを実行します。
- Step 2** 予約返却コードを CSSM にコピーし、製品インスタンスを削除します。



The screenshot shows the Cisco Smart Software Licensing interface. The 'Product Instances' tab is selected and highlighted with a red box. Below it, a table lists product instances. One instance is visible: 'UDL\_PID UCM, UDL\_SN edb10' with product type 'UCL' and last contact '2020-Jul-22 08:11:19 (Reserved Licenses)'. An 'Actions' dropdown menu is open, showing options like 'Transfer...', 'Update Reserved Licenses...', 'Remove...', and 'Rehost Licenses from a Failed Product...'. Below the table, a 'Remove Product Instance' dialog box is displayed. The dialog contains the following text: 'To remove a Product Instance that has reserved licenses and make those licenses once again available to other Product Instances, enter in the Reservation Return Code generated by the Product Instance. If you cannot generate a Reservation Return Code, contact [Cisco Support](#)'. There is a field for 'Reservation Return Code' with the placeholder text 'Enter the Reservation Return Code'. At the bottom of the dialog are two buttons: 'Remove Product Instance' and 'Cancel'.

450360

## license smart reservation return-authorization "<authorization-code>"

まだインストールされていない認証コードのリターンコードを生成するには、次の手順を使用します。ライセンスをバーチャルアカウントプールに返却し、CSSM から製品インスタンスを削除するには、Cisco Smart Software Manager に返却コードを入力する必要があります。

### 始める前に

次の手順でコマンドを実行して、Unified Communications Manager の登録ステータスが [進行中の予約 (Reservation In Progress)] であることを確認します。

- **license smart reservation enable**

- license smart reservation request

## 手順

- Step 1** Cisco Unified CM 管理コンソールから、license smart reservation return-authorization "<authorization-code>" コマンドを実行します。
- Step 2** 予約返却コードを CSSM にコピーし、製品インスタンスを削除します。

The screenshot shows the Cisco Software Central interface for Smart Software Licensing. The 'Product Instances' tab is selected and highlighted with a red box. A table lists product instances, with one instance selected. An 'Actions' menu is open, showing options like 'Remove...'. Below the table, a 'Remove Product Instance' dialog box is displayed, containing instructions and a text input field for the 'Reservation Return Code'.

**Remove Product Instance**

To remove a Product Instance that has reserved licenses and make those licenses once again available to other Product Instances, enter in the Reservation Return Code generated by the Product Instance. If you cannot generate a Reservation Return Code, contact [Cisco Support](#)

\* **Reservation Return Code:**

**Remove Product Instance** **Cancel**

450361

## 特定ライセンス予約対応システムのバージョン14へのアップグレード

ライセンス予約が有効になっている Unified Communications Manager 12.5 システムをバージョン 14 にアップグレードする場合は、次のシナリオを考慮する必要があります。

1. バージョン 14 にアップグレードする前に、"license smart reservation return" コマンドを使用して 12.x のライセンスを返却します（推奨）。  
または  
バージョン 14 にアップグレードした後で、"license smart reservation return" コマンドを使用して 12.x のライセンスを返却します。
2. "license smart reservation request" コマンドを使用して要求コードを作成します。Cisco Smart Software Manager で、バージョンのないライセンスを使用して承認コードを生成します。
3. Cisco Unified Communications Manager で、"license smart reservation install <auth-code>" コマンドを使用して承認コードをインストールします。

## 永久ライセンス予約対応システムのバージョン 15 へのアップグレード

永久ライセンス予約（PLR）が有効になっている Unified Communications Manager 14 SU2 以降のシステムをバージョン 15 にアップグレードする場合は、次のシナリオを考慮する必要があります。

1. バージョン 15 にアップグレードした後で、"license smart reservation return" コマンドを使用してライセンスを返却します。
2. アップグレード後、"license smart reservation request" コマンドを使用してリクエストコードを作成します。Cisco Smart Software Manager で、PLR ライセンスを使用して承認コードを生成します。
3. Unified Communications Manager で、"license smart reservation install <auth-code>" コマンドを使用して承認コードをインストールします。

## バージョンに依存しないライセンス



**重要** このセクションは、リリース 14 以降に適用されます。

Unified Communications Manager は、バージョンに依存しないユーザライセンスをサポートしています。ライセンスは、年間契約で、サブスクリプション期間に対して発行されます。これらの V14 ライセンスは、Flex EA（エンタープライズアグリーメント）または Flex NU（名前付き—プロフェッショナル、拡張、アクセス）からご注文いただけます。詳細については、『[注文ガイド](#)』を参照してください。

Unified Communications Manager は、引き続きバージョン 12.X ライセンスを使用します。

ライセンスは CSSM（Cisco Smart Software Manager）で管理されます。詳細については、「[スマートソフトウェアライセンス \(1 ページ\)](#)」を参照してください。

# スマートライセンスのエキスポートに関するコンプライアンス

スマートライセンスは、エキスポート制限機能をユーザが使用できるようにする手段を提供します。接続された状態では、登録プロセスを使用して、エキスポート制限機能を使用します。接続されていない状態では、スマートライセンス予約を使用してエキスポート制限機能を使用します。

このエキスポート制限機能は、スマートアカウントを使用している、エキスポート制限が適用されるお客様向けのソリューションです。この機能によってユーザは、Cisco Smart Software Manager またはサテライトで付与される規制上のエキスポート許可を要求し、エキスポート制限されている機能を Cisco Unified Communications Manager で有効化することができます。

以下のオプションでは、エキスポート制限機能に関する新しい機能と設計要素について説明しています。

- license smart export request local <exportfeaturename>
- license smart export return local <exportfeaturename>
- license smart export cancel

## エキスポート制御のタスクフロー

次のタスクを実行して、Cisco Unified Communications Manager のエキスポート制限ライセンスを取得します。

### license smart export request local <exportfeaturename>

このコマンドを使用すると、スマートアカウントを使用している、エキスポート制限の対象となるユーザは、Cisco Smart Software Manager またはサテライトから規制対象となるエキスポートライセンスを要求することができます。

Cisco Smart Software Manager またはサテライトで規制対象となるエキスポートライセンスが利用可能になると、このコマンドはエキスポート承認キーを返し、エキスポート制限の対象となる機能を製品上で有効化します。

#### 始める前に

Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Smart Software Manager またはサテライトを使用して登録されます。<CUCMの輸出制限の対象となる承認キー>ライセンスが利用可能であることを Cisco Smart Software Manager で確認してください。

## 手順

---

Cisco Unified CM 管理コンソールから、次の CLI コマンドを実行します。

- license smart export request local <exportfeaturename>
- 

## license smart export return local <exportfeaturename>

このコマンドは、以前に要求されたエクスポート制限付きライセンスを Cisco Smart Software Manager またはサテライトに返すことを許可します。エクスポート制限機能のエクスポート認証キーがシステムから削除されます。

### 始める前に

機能に対してエクスポート認証キーが生成されます。

## 手順

---

Cisco Unified CM 管理コンソールから、次の CLI コマンドを実行します。

- license smart export return local <exportfeaturename>
- 

## license smart export cancel

このコマンドを使用すると、エクスポート制限の対象となっている Smart アカウントを持つユーザは、Cisco Smart Software Manager またはサテライトからのエクスポート要求またはリターンの自動再試行のキャンセルを取り消すことができます。

### 始める前に

Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Smart Software Manager またはサテライトを使用して登録されます。

## 手順

---

Cisco Unified CM 管理コンソールから、次の CLI コマンドを実行します。

- license smart export cancel
-



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。